



2022 JR総連春闘勝利！ シリーズ⑬

会社が回答日を示しているのに、 ユニオンが回答日前倒し要求！ 組合員を欺くためなのか？

JR東海ユニオンは、3月15日付『2022春闘情報』号外で、3月15日、申第10号「賃金引き上げ等に関する回答指定日について」を会社に申し入れ、回答指定日を「3月16日以降、速やかに回答」としました。

JR東海労は3月9日の団体交渉終了後、会社から回答日は3月18日にする通がされています。当然、JR東海ユニオンにも会社から同じ回答日が通告されているはずですが、にもかかわらず、なぜJR東海ユニオンは「3月16日以降、速やかに回答」とする必要があるのでしょうか？しかも、申し入れ日は、回答指定日の前日です。いくら何でも、会社にとっては迷惑な話でしょう。

考えられることは、

- ① まともな交渉記録すら明らかにせず、組合員には「闘っているぞ」というポーズを見せる
- ② JR東海労が社員目線で交渉している一方、目立つパフォーマンスでごまかす
- ③ そもそも、回答指定日は会社に委ねていた
- ④ 会社との出来レース（会社主導で動いている）

というところでしょうか？

いずれにしても、組合員を欺くことには変わりはありません。

JR東海ユニオン組合員の皆さん、指導部に理由をしっかりと聞いてみましょう。